

平成28年度第1回日進市特別職報酬等審議会議事録

日 時	平成28年10月25日(火) 午後1時30分から午後2時55分まで
場 所	市役所 本庁舎4階 第3会議室
出席者	委員：續伯彦委員、山本恵委員、市川豊委員、水嶋義弘委員、武山尚生委員、岩月ミサブ委員、鈴木絹子委員、生田ふみ委員、水藤雅詳委員 事務局：企画部長 金山敏和、企画部調整監 小林正信、人事課長 牧野かおる、同課長補佐 山田和典
欠席者	土井徹委員
傍聴の有無	有(3名)
開会(司会進行：事務局)	
副市長挨拶	市長急遽公務となったため、代わりに挨拶をさせていただきます。委員の任命の後、早速審議を願うこととなりますが、審議前に、昨年度の答申に対する市の対応について説明させていただきます。昨年度は、報酬の引き上げの答申をいただきましたが、市長はじめ特別職の地域手当を平成27年4月から特別職の報酬にそぐわないのではないかという考えもあり、取りやめをした翌年度であったこと、それから、税収の伸びは、平成25年度から平成26年度の単年度において回復基調にあったものの、その後継続して回復基調が維持されるかどうかについて、もう1年状況を見るべきではないかという判断に至りまして、結果として、答申に沿う形での対応はさせていただきますませんでした。このことにつきましては、異例中の異例であり、審議会のご答申いただいた内容に沿う形で実現すべく、議案等を上程するというについては、当然努めるべきと考えておりますが、先ほど述べた理由により昨年度について、そういった対応ができなかったことをお詫び申し上げるとともに、何卒ご理解いただきたいと思っております。皆様におかれましては、そういったことを踏まえながらご審議いただき、適切なご答申をいただきますよう心よりお願い申し上げます。
委員任命	委員に任命書を交付。
会長の選出	委員の互選により續会長を選出。会長挨拶。
諮 問	副市長、諮問書を読み上げ、会長に手交。(副市長退席)
会 長	副会長として武山委員を指名。
委員自己紹介	副会長から順に自己紹介。
事務局自己紹介	部長から順に自己紹介。(これ以降会長により議事進行)
傍聴承認	会長から委員に傍聴の可否を諮り承認した。
議題：特別職報酬等の額について	

会 長	<p>お手元にある資料の事務局による説明及び質疑の後、現時点における各委員のお考えをお聞きすると、2時間程度になると思われます。最初に一言だけ申し上げますが、資料2ページの日進市特別職報酬等審議会条例によりますと、市側にもある程度報酬額を変更しようという気持ちがあるときに招集すると読めますが、昨年変更すべきという考えで招集されたものと考え、我々は答申をさしあげたところではありますが、冒頭の副市長の挨拶にあったように、事後に検討いただいて、少し難しいという判断になったということでもあります。今回はもう一度考えたいということで招集されたということでもあります。昨年審議された方としては、事情説明が今回になったということは少し前後する部分はありますが、改めて審議を行っていきたいと思います。3ページ以降の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>資料の説明を行う。</p>
会 長	<p>市長等の報酬等の状況とその背景となる市の財政状況等の説明があったが、これを踏まえて、昨年度答申内容を勘案したうえでの皆様のご意見を伺いたい。</p>
委 員	<p>昨年十分審議して、妥当な数字ということで答申内容に賛同しており、今年度も財政状況は良いようなので、今年度も昨年度と同様の数字で答申すれば良いと思っています。また、質問ですが、過去ずっと金額を引き上げている時期があると思いますが、どういった理由で引き上げているのですか。</p>
会 長	<p>市制への移行が理由ではないですか。</p>
事務局	<p>資料33ページをご覧ください。特別職の平成2年からの推移を示しており、上段部分に市制移行の表示がありますが、市と町の水準には大きな差異があり、市制移行にあたり、市の水準に近づけたいということで、市制移行が見込まれた平成2年頃から段階的に引上げを行ってきました。しかし、経済状況の理由等から、平成11年以降、プラスの改定を行っていません。特別職で顕著であるが、議員についても乖離が大きい状況であります。</p>
委 員	<p>連続して引き上げをしていたのは、先を見越して徐々に引き上げを行っていたということですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委 員	<p>日進市よりも人口規模が少ない自治体でも連続して引き上げている感じがあるが、同様の理由で引き上げているということですか。</p>
事務局	<p>引き上げ・引き下げの判断は、経済動向によるものですから、個別自治体のことは言えない部分もあります。</p>
委 員	<p>資料12ページを見ると、前回改正から近いところがあり、どういう状況で引き上げしているのか、計画的な引き上げを行うところもあるのか。</p>
事務局	<p>愛知県内は資料にあるように財政状況が良く、全国的にみると、特に自動車関連産業に関するような地域は、財政力があるため、引き上げしやすい環境にはあると言えます。</p>

委員	引き上げを行って、また引き上げを行う状況はどういう理由か疑問に思ったため、質問しましたが、ありがとうございました。
委員	昨年報酬の引き上げの答申をしたのが、見送られたということですが、昨年の答申は、県内の人口8万人から9万人未満の同規模自治体の議員報酬及び特別職の給料の額の平均額を基準として引き上げを行うという答申を行いました。しかし、現に資料12ページにあるように平成28年度に引き上げを行ったところがあるので、それを踏まえて今年度の引き上げの答申を行ってはどうかと思います。
委員	特別職も議員も全て引き上げを行わなかったということですが、昨年度の答申はみなさんの意見の中で、報酬を引き上げた分、仕事で返してくださいという期待も込めて、まとまった答申であったと思っております。財政上厳しい部分もあると据え置きをされて、今年度みると健全化に向けて推移していただろうと思われしますので、昨年に引き続いて、そのままの答申を行えばよいと思っています。しかし、まだまだ不透明な部分もあるため、事務方のみなさんも慎重に環境を整備していただき、市民の幸せの向上等に励んでもらえるきっかけになればと思います。
委員	住みよさランキングや財政も健全ということなので、昨年度と同様の答申に賛成であります。副市長の挨拶にも税収の点で指摘がありましたが、資料を見ると、日進の発展は見えてきているため、答申どおり引き上げてもらって、議員にもしっかり働いてもらえることを期待しています。
委員	みなさんと同様の意見で、財政状況も良いと思いますので、昨年度答申とだいたい同様で良いのではないかと思います。
委員	他市と競争するわけではないが、こういった数値で表していただくと、一番私達に身近な職員一人当たり、議員一人当たりという数値を他市と比較すると、限られた人数で頑張っていたかと思えました。それに準じて特別職を含めて、財政状況に応じて支障がなければ、バランスが良ければ、昨年度の答申内容で時宜を得ているのではと思います。一つだけ伺いたいのが、昨年度答申どおり引き上げしなかった理由として、副市長から地域手当などの要因という点があげられたが、地域手当とは具体的にどのようなものですか。
事務局	地域手当は、国の調査で、その地域の賃金の構造がどれ位のレベルかという調査があり、10年間の平均を見て、かい離している部分を見て、国が手当額を示してくるものであります。都会で生活すると物価水準も高く、手当水準が高くなり、一般職にはなじむものですが、特別職にはなじまず、分かりにくいという指摘を受け、廃止したものであります。
委員	それは、それぞれの地域の方針に反映されているものなのですね。

会 長	資料にあるどの表も、給料・給与・年額の3つの額比較となっています。給料が審議会の答申すべき項目であるが、実際には地域手当を含んで給与が決まり、年額が決まるという構造であります。地域手当は、審議対象ではないが、他市との比較においては、給料だけで比較すると、実際にその職にある方が受け取っている額とのかい離が大きすぎるので、過去には我々も質問さしあげたところです。これは、公務員が国の一括支配と考えた場合、生活コストが高いところと安いところの差は手当で補てんするという考えの名残がありました。市は独立の自治体であり、市の状況にあった市が払うべき全額で比較するということができないかという指摘を数年前に行い、それであれば日進は日進の状況で考えましょうということで地域手当を廃止されました。そういった給与体系が動いている時期に、引き上げをすることに逡巡されたと理解しております。全国的な給与体系のなかで仕事をしていますと、生活水準維持のために必要なものとなりますが、地方自治体が支払う額という観点で整理していただけないか、これを考えるのは難しい問題ですと申し上げ、調整をしていただいたところ、翌年に引き上げを行うのはどうかという点があったのだと思います。
委 員	初めて聞く言葉だったものですから、よくわかりました。結果としては、ベースになる、生活に直結する仕事をしている職員、議員さんの報酬は引き上げていく時期だと判断はつきましたので、それに準じて特別職もというのは必然かと思えます。
委 員	引上げを主張してきましたが、今年に関しては、くるりんバスの値上げ・本数を減らすという噂を聞いております。生活をしやすい点から歳出を増やすべきだと思います。まだまだ財政豊かですから、給料上げることも大切ですが、そういったことと比較して歳出を増やすことも大切だと思います。
会 長	たしかに市行政全体の話を知ると、一市民の立場でジャッジしたくなるのは致し方ないと思いますが、この審議会の職務は、さきほど諮問をいただいた特別職・議員の報酬の水準に焦点を絞らせていただかないと議論が散漫となりますので、ご理解ください。
委 員	資料に記載のある以外の収入はないですね。例えば、東京都議会だと日当が出ていますが。
事務局	日当は廃止をさせていただいております。
委 員	これ以外の収入はないということですね。
事務局	政務活動費はあります。資料24ページの中段に記載のあるように年額15万円の交付はされております。
委 員	政務活動費は廃止されたのではなかったですか。
事務局	政務活動費は、現在も交付しております。

副会長	<p>多くのみなさんとだいたい同じ考え方で、昨年の答申の振り返りをしてみますと、額を考える際に目線をどこにおいたかというと同規模自治体の平均と記憶しております。そのなかで、前回答申した内容から1年間で、状況が前回答申内容を覆すような大きな変化があったかという話を考えてみた場合には、それを覆すような状況にはないと思います。前回の答申のなかにも盛り込まれていました税収が回復基調にある、地方交付税不交付団体、自主性が高い、財政指数等の数値も良好というような点が大きく変化するものでなければ、前回の答申を大事にしたらと考えております。ただし、目線として、平均をとっていますので、同規模自治体がいろいろ上げているのであれば、少し比較してみる余地はあるかもしれません。類似の団体ですので、日進市と違う状況もあるかも知れませんが、それを踏まえたうえで、あとは、日進市の状況としては、税収とか自主性とか財政指数とかをみながら、平均がどう動いたかというところを最終的に織り込んで、整理する考え方で良いのではないかと考えています。</p>
会 長	<p>多くの方が継続的に審議に加わっていただいて、だいたい前回の審議内容を保障したうえで、進めていただいておりますので、話し合いの方向ははっきりしているかと思えます。ただ、副会長の発言にもあったように、この審議会が昨年度根拠にした材料自体の変化がいかにどのものかという点は少し精査をして、今年度の答申に反映したほうが、審議としては適切ではないかと思われます。そういう意味では、今回の資料では昨年度から今年度でどれ位動いたかというところが、少し見にくいところがありますので、そこを補足していただくと、全体の動きはこの程度であるということ踏まえて、前年度答申をどの程度調整すべきであるか否かという具体的な議論に進められるかなと思っています。幸いなことに、日進市は好調を維持しており、財政指数は、前回・前々回の資料で1.0を下回る微妙なところを動いていたのが、1.02に戻ってきたのは非常に望ましいことであり、そういう意味では、あまり心配をせずに、昨年の感じてあったよねという感じで話が進められるのは、我々からするとラッキーだなと思います。昨年度審議のベースにした材料と今年度の状況がどの程度推移したのかを事務局から示していただき、前年度答申の調整幅がどれ位ありうるかどうかという資料を次回お示しいただくと、議論がまとまりやすいと思います。あまり大きな意見の違いはありませんので、資料の作成をお願いして、本日は閉会とさせていただきます。</p>
委 員	<p>手持ちの資料がないが、本年度の住みよさ・財政健全度ランキングと昨年度を比較すると、少し順位が変わっていた気がしますので、会長が言われたように、どうして変わったのか、どこか突出した市があれば、それは企業業績が良いのが原因で、日進市は同じレベルで推移しているけれども、順位が変動している等の理由を含めて示していただくと、もう少し健全さ等がわかり、判断基準として分かりやすいと思います。昨年と比べて順位や数値が変わっているところに興味がありますので、理由が分かる程度で良いのでお願いしたい。</p>
会 長	<p>非常に精緻な審査となりますが。</p>

委員	全国的な傾向は少し違っていたり、快適さのあたりの数字が変わってたり。簡単にいうと、人口が増えたからそういう評価なのか、減ったからそういう評価なのかを含めてどういう評価なのかを知りたいと思います。
会長	あわせて資料作成をお願いします。みなさん、本日はご審議ありがとうございました。
事務局	次回は11月17日木曜日13時15分から本庁舎4階第2会議室にて開催を予定しております。また、第3回目は、12月15日木曜日10時から本庁舎4階第1会議室で、本日同様2時間ほどの審議を予定しております。本日はお忙しいところありがとうございました。
閉会	